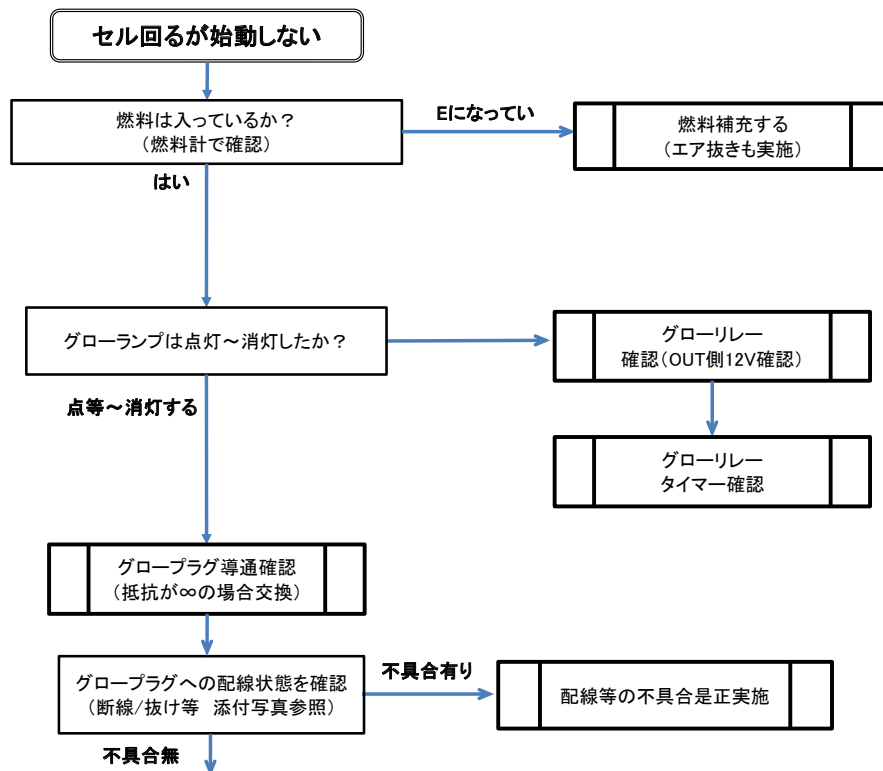


エンジン始動異常(セル回るが始動しない) 機種: 12-42DK



エア抜き方法

エアベント
プラグ



- ① ストレーナーにあるベントプラグを緩める
- ② 燃料が漏れ出てきたらプラグを締める
- ③ エンジンを始動させベントプラグから燃料が漏れない事

フューエルフィルター

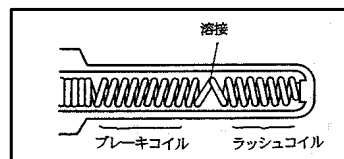
リレーレイアウト



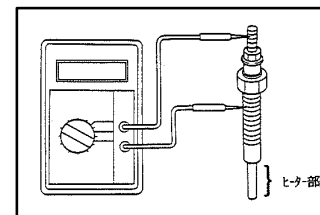
グローリレー
タイマー

グローリレー

グロープラグに関して



グロープラグコイル構造



グロープラグ導通確認

グロープラグは先端部が赤熱するラッシュコイルと温度を制御するためのブレーキコイルの2コイルから構成されています。このグロープラグの状態確認は左図の様にグロープラグの端子とハウジング間の抵抗を測定します。
参考抵抗値: 約0.1～5.0Ω

エンジン始動異常(セル回るが始動しない)

機種: 12-42DK

1

エンジンのインジェクション部迄燃料がきているかをナットを緩めて確認する。(完全に緩めない事)

不具合有り

エンジンのインジェクション部

不具合無

インジェクションノズルを外して状態を確認する。
(カーボン付着が激しい場合は洗浄または別の物と交換して始動するか確認する。)

エンジン自身の要因が考えられる事から、エンジンの取扱い説明書に従い、調査を行う様にして下さい。

燃料噴射ポンプから燃料が供給されているか？
(燃料噴射管を外して確認する)

インジェクション部から燃料が供給されているかを確認。

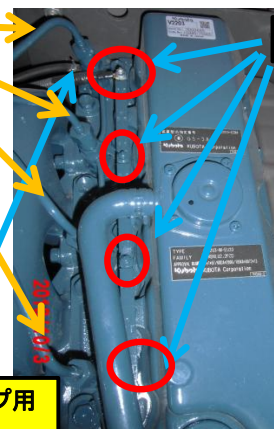
グローランプ/インジェクションレイアウト

インジェクションライ

グローランプ

インジェクション確認Point
①燃料が供給されているか？
(燃料吹き出し確認)
②各インジェクション接続部での燃料漏れ等がないか？
(外観確認)

グローランプ用



グローランプ部確認Point
①右図赤○部電圧供給ライン
圧着端子部の確認
②各グローランプ部のナット
締付け状態(緩み等)
③グループラグに電圧が正常に
供給されているか
④グループラグの端子とエンジン
ボディー間の抵抗確認を

インジェクションポンプレイア

燃料噴射ポンプ

